

東京

「其の日」暮らし

＝ドイツ編＝



誕生日のこと

やっと夏らしく気温が高くなりましたが、日陰はとても気持ちがいので午後はゴザを敷いてお茶を飲んだりしています。

ドイツ人は誕生日のお祝いには力を入れているのが一般的のようです。たとえば誕生日には自分でケーキを用意して職場や学校に持って行って同僚、クラスメートと一緒に食べたり、幼稚園では親がチョコレートやマフィンを作って持って行ったり。息子の幼稚園ではケーキを持ってきてはいけないと決まっているので私は何もしていませんが、ほかの幼稚園に通う友達はいろいろ工夫しているようです。

先日、息子がお誕生日会にお呼ばれました。4歳や5歳の子供なのに誕生会？と思いますが前述したようにドイツ人は誕生日には気合いを入れておもてなしをします。ただ、ケーキをたべて、みんなで勝手に遊ばしておくというだけでなく、親がきっちりイベントを用意しているのです。たとえば、白いシャツに各自好きな絵を書かせたり、ガラス瓶にきれいな紙を貼って花瓶を作ったり、スプーン競争や袋に両足を入れてジャンプしながらゴールに向かうゲームなどいろいろ用意されています。中でも「お約束」かつ子供が夢中になるゲームは「宝探し」。子供に地図を渡し家の中や外に隠されたヒントをたどりみんなで宝箱を見つけるのです。だいたい家の敷地の中に隠されていますが、手の込んだ物になると近所の公園に隠しておいて（大人が見張りをしています）探検しながら探し取ります。宝箱の中身はお菓子や小さいおもちゃが入れています。今回もお友達のお父さんとお母さんが幼稚園から子供をピックアップして彼らの自宅にバスと車で向かい（40分くらいの距離）そこからパーティーをしたのです。子供の親たちは夕方に迎えに行くのです。迎えに行くと子供たちはすべてのイベントを終わらせてゴチャゴチャになって遊んでいるので、すぐには帰りそうな様子もなく出されたお茶やお菓子をいただきます。ばらばら雑談。という形になるのが一般的のようです。また、節目の誕生日たとえば18歳、20歳、30歳・・・がとても重要らしく

特別のカードが用意されています。60歳が盛大に祝われるのは日本と同じですが、節目の誕生日のため貯金をして親族、友人を招待しレストランを貸し切りにしてお祝いをするというのはよく聞く話です。昨日も友人の家に遊びに行くと「下の階に住む家族のご主人が秋に60歳の誕生日を迎えるのでそれまでに「スシコース」(お



探しあてた箱の中身を確認しています。

寿司の作り方を教えてもらおう)を受講し誕生日のパーティーでスシをみんなに振る舞いた
い。ついては誰かマイスターを知らないか？」と相談されました。「本物の職人さんがそ
んなん教える暇あるかいな」と思いましたが、たまたま知人の日本人女性が市民講座で「ス
シコース」を開講しているのでそれを紹介しながら「まだ7月やのにもう誕生日のプラン
を組んでいるなんて、気合いの入れ方がハンパやないなあ」と誕生日に向けての意気込み
に圧倒されたのでした。

PUKIPUKI・N

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞